

環境関連施設見学会報告

日時：平成28年3月3日（木） 12時～17時30分

会場：東京ガス 千住見学サイト E i - Walk（イーウォーク）
（荒川区南千住3-13-1 千住テクノステーション内）

視察の概要

- ・ <視察目的>

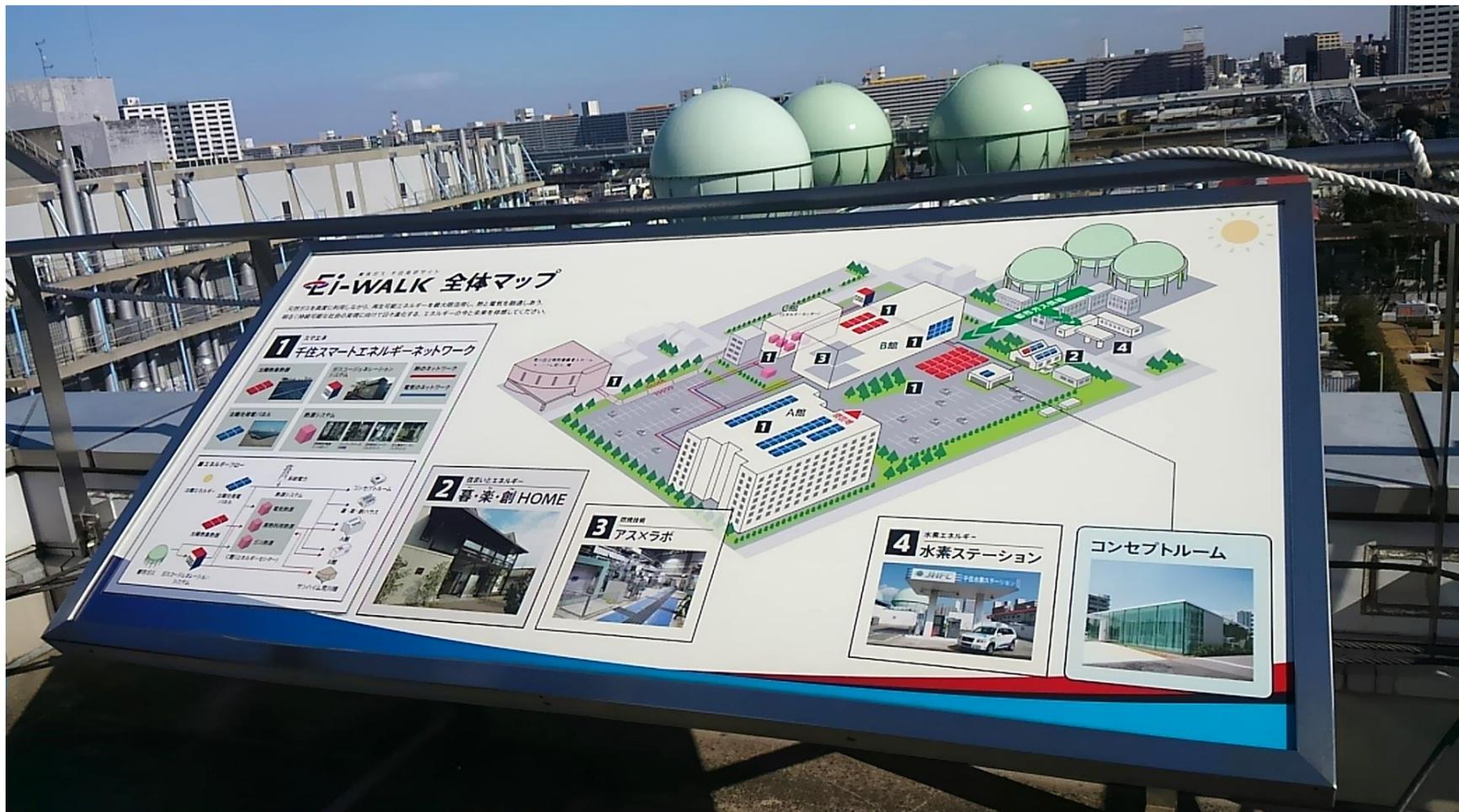
第四期武蔵野市環境基本計画の環境像「スマートシティむさしの」の推進にあたって、重要となるエネルギー政策の視点や手法について、実際に地域で実証を行っている施設での実例を見ながら、学び、深く考える機会とする。

- ・ <参加者>

○委員 13名 ○市職員 3名

○東京ガス関係者 4名

Ei - WAIK 全景



千住スマートエネルギーネットワーク

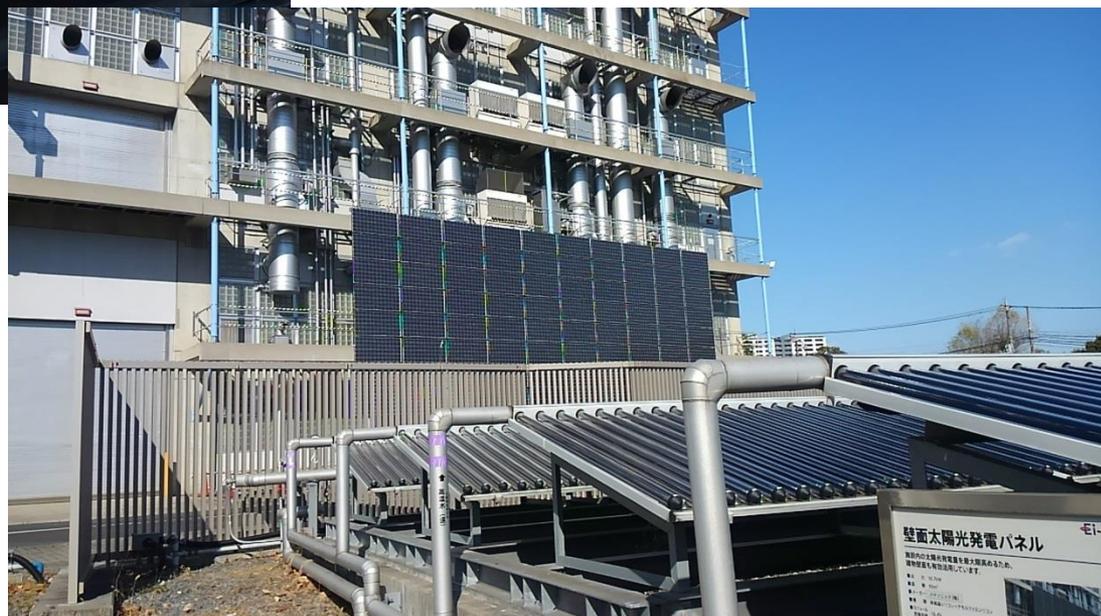
- スマートエネルギーネットワーク
⇒ 地域全体でエネルギー利用効率を最大化する仕組み
- 太陽光発電システム、太陽熱集熱システム、ガスコージェネレーションシステム等を創エネシステムとして活用。
- 施設でつくったエネルギーを隣接する荒川区の福祉施設との双方向熱融通している。

スマエネの中心となる創エネシステム



← 屋上の太陽光システム
20年以上稼働しているが、
大きな故障はない

壁面太陽光パネル
と太陽熱集熱機 →



水素ステーション

- 燃料電池自動車 (FCV) の普及に向け、2016年1月に商用の水素ステーションとして展開している。
- 都市ガスから水素を製造する装置、圧縮機や蓄圧機、車への水素充填の方法などの説明。
⇒徹底した安全管理
- MIRAIへの試乗

実際の水素ステーションとMIRAI



暮・楽・創(くらそう)HOME

- 住宅一時取得者層の中心となる30代のライフスタイルを分析し、その結果に基づいた情報通信技術と独自のアイデアを駆使した家族の新しい繋がり方や、省エネで心地よい住まい空間など少し先の未来を意識した住宅の紹介。
- 住宅のコンセプト
「ひとりひとりを結ぶ家～家族がゆるやかにつながる暮らし～」

アンケート結果について

【アンケート内容まとめ】

- ・見学時間については、みなさんがちょうどよいという回答。
- ・見学内容も、満足できる内容だったとの回答。
- ・「一番参考になったもの」については、スマートエネルギーネットワークと水素ステーションに二分されている。
⇒市の環境政策の企画として捉えた時に関心が向くものだと思う。
- ・暮・楽・創ホームについては疑問的な意見が多い。（便利すぎるのもどうか・・・）
- ・丁寧な解説があったことを評価する意見が多い。

【今後に向けて】

- ・視察の際の事前ポイントレクチャー
- ・施設見学と会議を連動させながら進めていく

環境施策への展開

スマートエネルギーネットワーク

＜環境基本計画 環境方針2 公共施設における効率的なエネルギー活用＞

- ◇ 新クリーンセンターから生み出されるエネルギーの市役所本庁舎や周辺公共施設への面的供給
- ◇ 文化会館から隣接する第一中学校のエネルギーの供給(災害時)

水素ステーション

＜環境基本計画 環境方針2 新しいエネルギーの活用＞

- ◇ 燃料電池自動車MIRAIを平成28年度中に導入予定。

暮・楽・創(くらすう)HOME

＜環境基本計画 環境方針2 家庭での省エネ・創エネとエネルギーのスマート化＞

- ◇ ゼロエネルギーハウス等の検討。